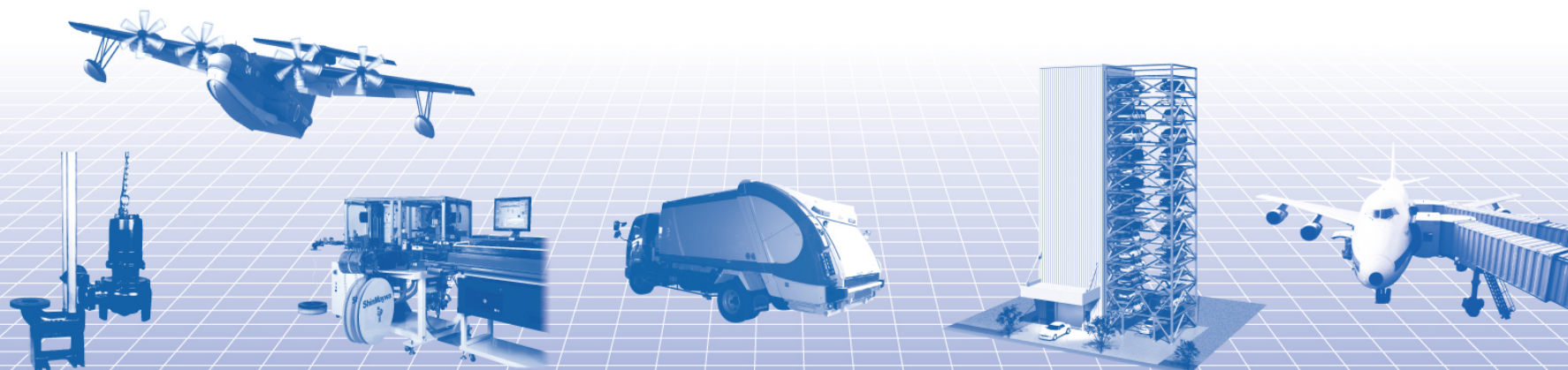


新明和工業株式会社

ShinMaywa

Brighten Your Future

輝かしい明日のために —
世の中をもっと便利に、もっと快適に。



新明和工業株式会社

**2019年3月期 第2四半期
決算説明会**

2018年11月15日

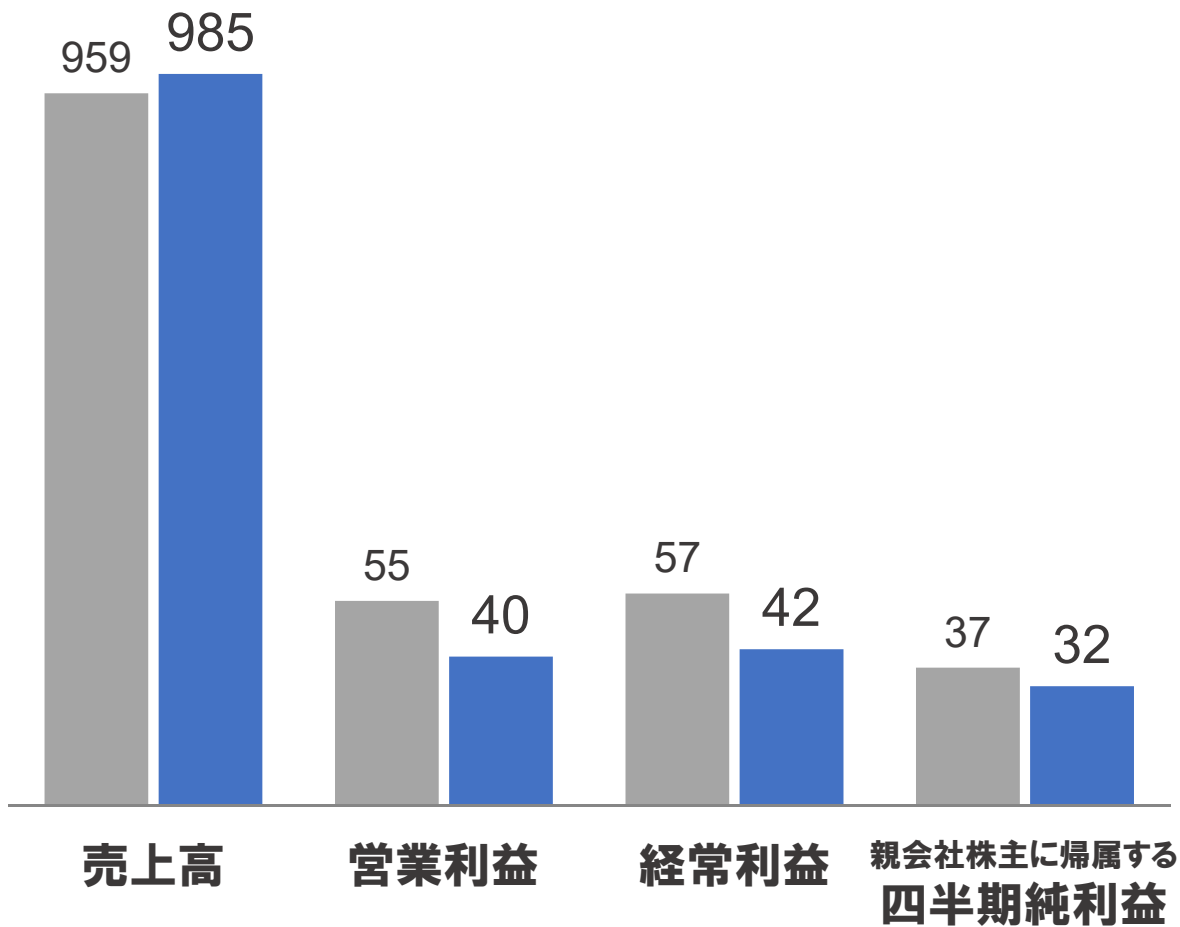
1. 2019年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト
 2. 2019年3月期 通期業績予想
 3. 中期経営計画「CFG2020」進捗状況
- 補足資料

1

2019年3月期 第2四半期 連結決算ハイライト

(単位:億円)

■ 2018.3期 上期 ■ 2019.3期 上期



売上高

- ・前年同期比3%増
- ・上期としては過去最高を達成

営業利益

- ・前年同期比27%減
- ・会社計画に対しては、
想定内の進捗

セグメント別 増減(前年同期比)

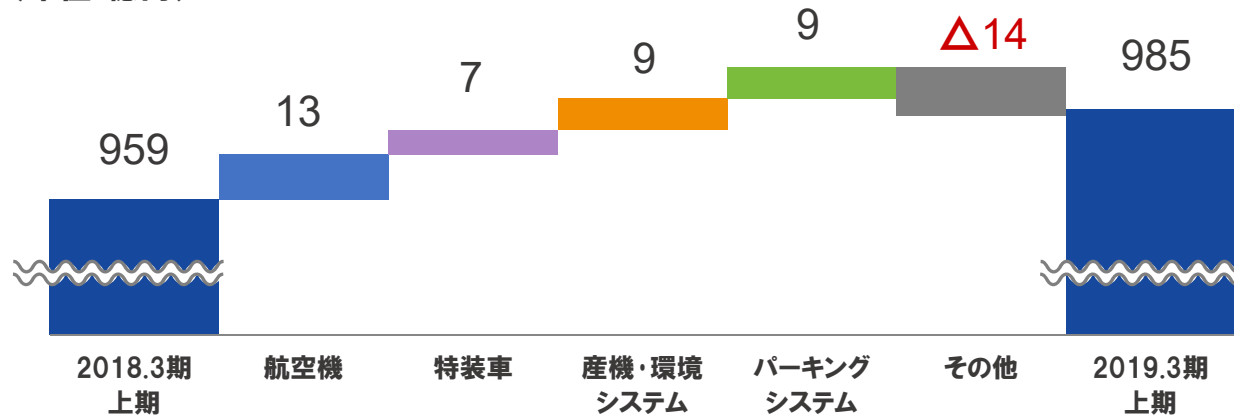
Contents

連結決算ハイライト

6

売上高

(単位:億円)



■航空機

- ・US-2型救難飛行艇の製造作業が進捗

■産機・環境システム

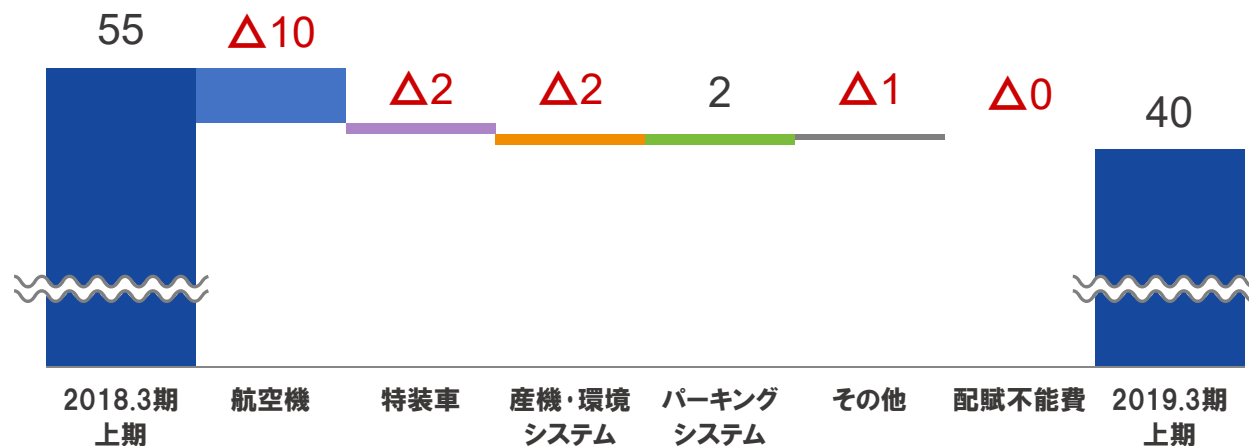
- ・真空製品の増加など

■パーキングシステム

- ・機械式駐車設備
- ・航空旅客搭乗橋
- いずれも新設案件の工事が進捗

営業利益

(単位:億円)



■航空機

- ・「777」生産機数減
- ・「787」売価ダウンなど

■特装車

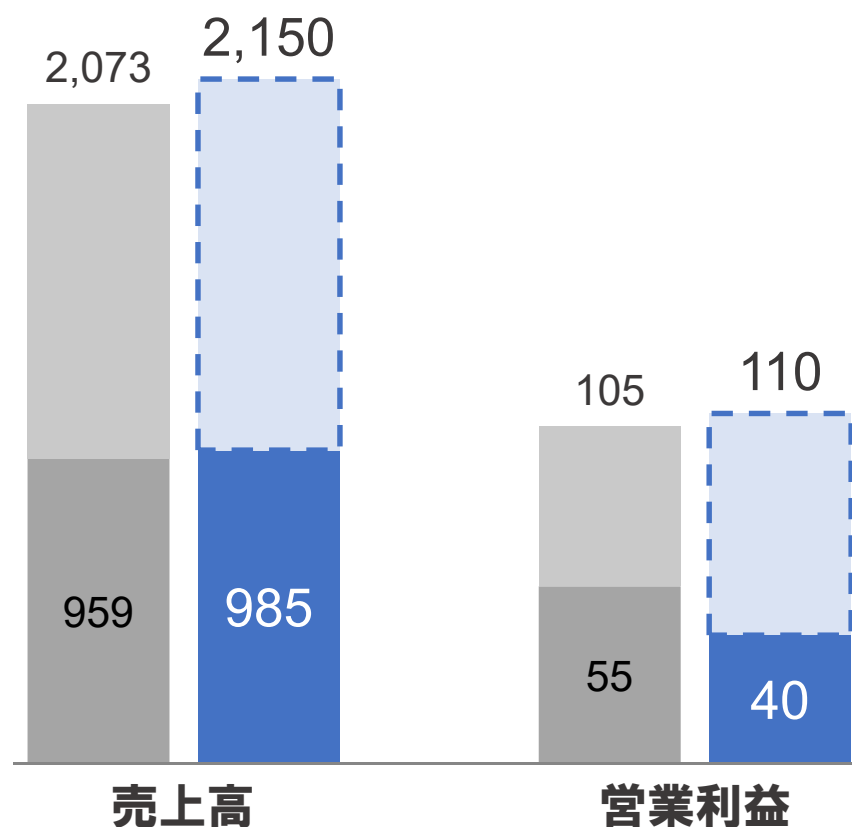
- ・資材費等が増加

■産機・環境システム

- ・製品構成差などにより利益率が低下

2 2019年3月期 通期業績予想

(単位:億円) ■ 2018.3期 ■ 2019.3期(予想)



下段:上期実績
為替前提(下期):108円/USドル

通期業績予想を 上方修正

■4月予想比

- ・売上高:50億円増
- ・営業利益:5億円増

(単位:億円)

	2018.3期	2019.3期 (4月予想)	2019.3期 (10月予想)
売上高	2,073	2,100	2,150
営業利益	105	105	110
経常利益	107	110	115
親会社株式に帰属する 当期純利益	70	76	79

セグメント別 通期業績サマリー

Contents

通期業績予想

9

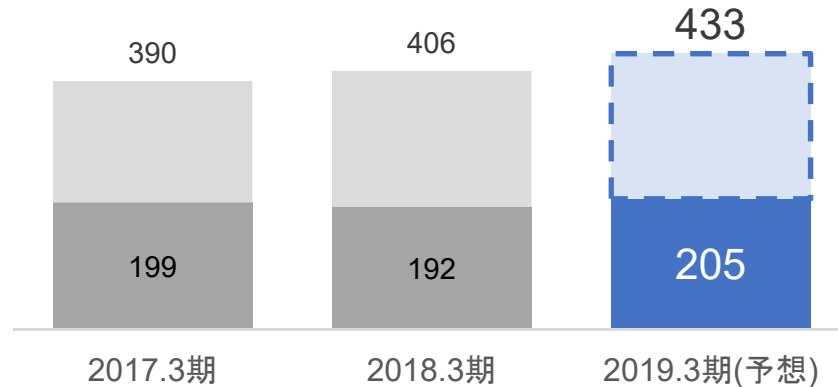
(単位:億円)

セグメント	売上高			営業利益		
	2018.3期 実績	2019.3期 予想	増減	2018.3期 実績	2019.3期 予想	増減
航空機	406	433	+26	13	19	+5
特装車	903	916	+12	63	56	△6
産機・環境システム	300	337	+36	24	24	△0
パーキングシステム	319	342	+22	17	22	+4
その他※	142	122	△20	10	11	+1
配賦不能	—	—	—	△23	△23	+0
合計	2,073	2,150	+76	105	110	+4

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業、不動産事業、ソフトウェア事業等を含んでおります。

売上高

(単位:億円)



下段:上期実績

■上期実績(前年同期比)

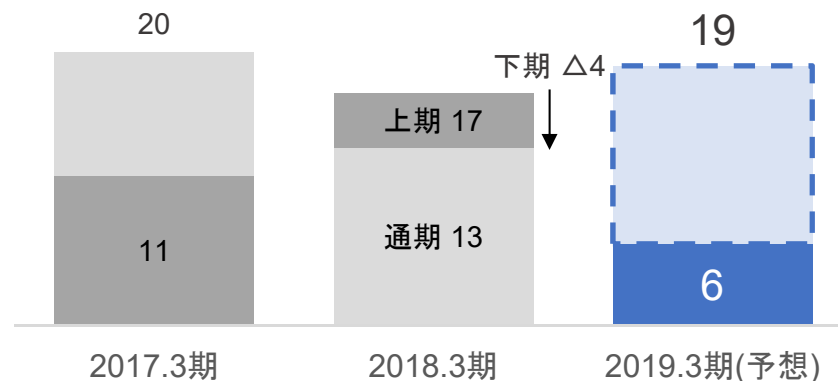
防衛省向け: US-2型救難飛行艇の製造作業が進捗
 民需関連: 「777」生産機数減 (34機→22機)
 「787」生産機数減※ (71機→65機)
 ※9月に発生した台風被害による出荷遅れ
 「777X」生産機数増 (0機→2機)
 「G7500」生産機数増 (3機→19機)

■通期予想(前期比)

防衛省向け: US-2型救難飛行艇の製造作業進捗を見込む
 民需関連: 「777」生産機数減を見込む

営業利益

(単位:億円)



下段:上期実績

■上期実績(前年同期比)

・「777」生産機数減
 ・「787」売価ダウン
 など

○実績レート(円/USドル)

2018.3期 上期	111.0
2019.3期 上期	109.5

■通期予想(前期比)

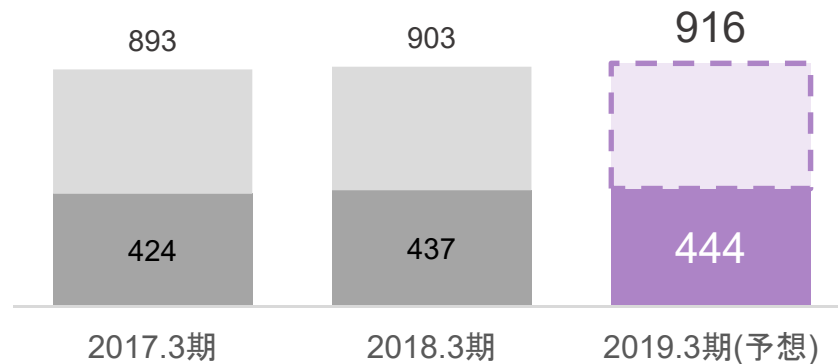
・「777」生産機数減を見込む
 ・工事損失費用の減少を見込む

○想定レート(下期)
 108円/USドル

○為替感応度(下期)
 1円の円安進行で
 約1.3億円の営業利益増

売上高

(単位:億円)



■上期実績(前年同期比)

- ・建設・物流関連車両等の需要が旺盛
- ・受注・生産活動の効率化により高水準で推移

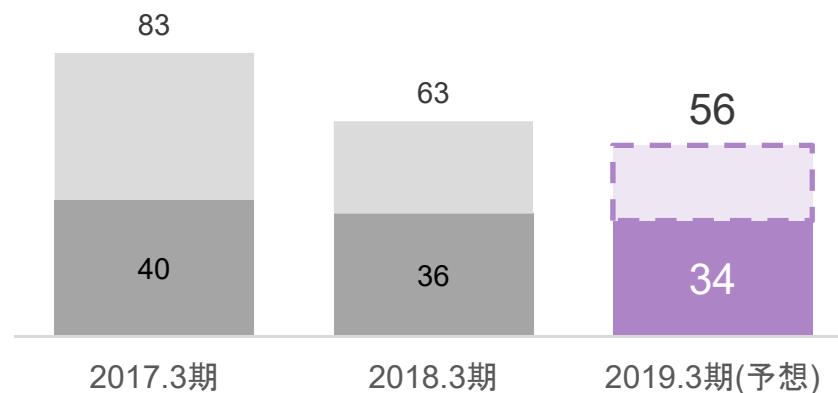
■通期予想(前期比)

- ・堅調な受注残高が寄与し、増収を見込む

下段:上期実績

営業利益

(単位:億円)



■上期実績(前年同期比)

- ・資材費等が増加

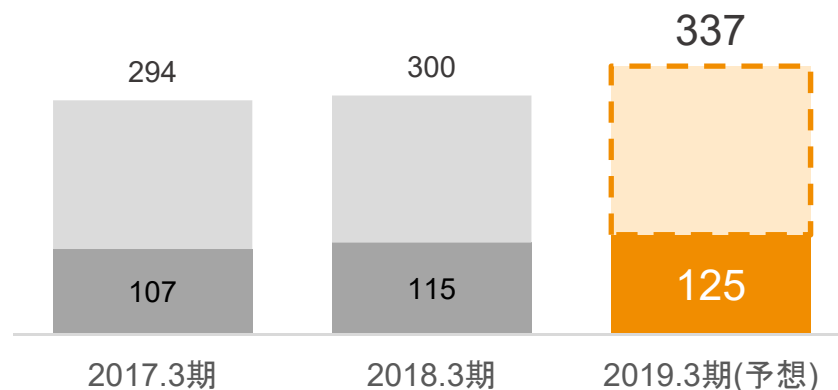
■通期予想(前期比)

- ・資材費の増加、製品構成差などを見込む

下段:上期実績

売上高

(単位:億円)



■上期実績(前年同期比)

メカトロニクス製品: 真空製品の増加
環境関連事業: プラント事業の新設案件工事が進捗

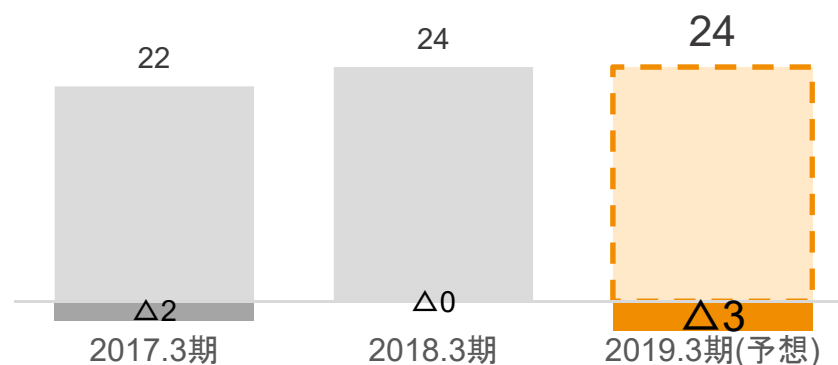
■通期予想(前期比)

・全ての分野で増収を見込む

下段:上期実績

営業利益

(単位:億円)



■上期実績(前年同期比)

・製品構成差などにより利益率が低下

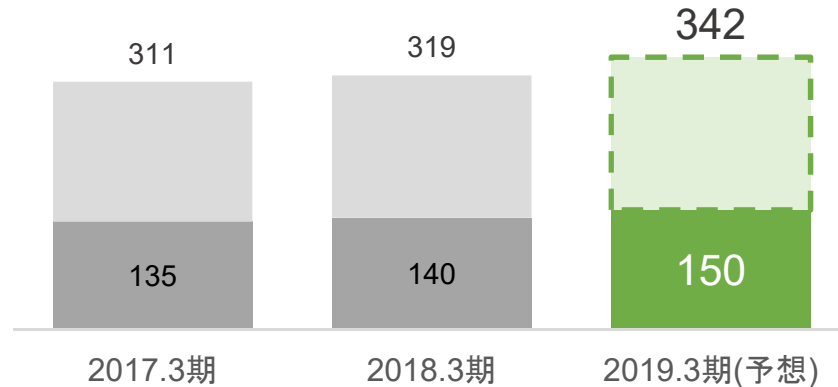
■通期予想(前期比)

・利益は前期並みの水準を見込む

下段:上期実績

売上高

(単位:億円)



■上期実績(前年同期比)

- ・機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも新設案件の工事が進捗

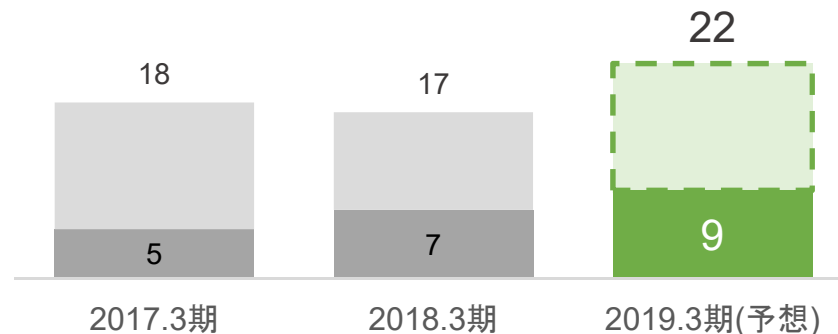
■通期予想(前期比)

- ・機械式駐車設備、航空旅客搭乗橋、いずれも新設案件の工事進捗を見込む

下段:上期実績

営業利益

(単位:億円)



■上期実績(前年同期比)

- ・大口の受注案件に対する工事損失費用の計上が前年同期に比べ減少したことで、収益性が改善

■通期予想(前期比)

- ・増収による増益を見込む

下段:上期実績

3 中期経営計画「CFG2020」進捗状況

目的:「CFG2020」目標完遂と事業活動における「安定⇒成長志向」への転換促進

■2018年8月1日付 組織変更

- ①本社に「経営企画本部」を新設
- ②同本部の傘下に企画部、広報・IR部、資材調達部を配置
- ③副社長執行役員に「石丸寛二」昇格、同本部長任命

■新体制のねらい

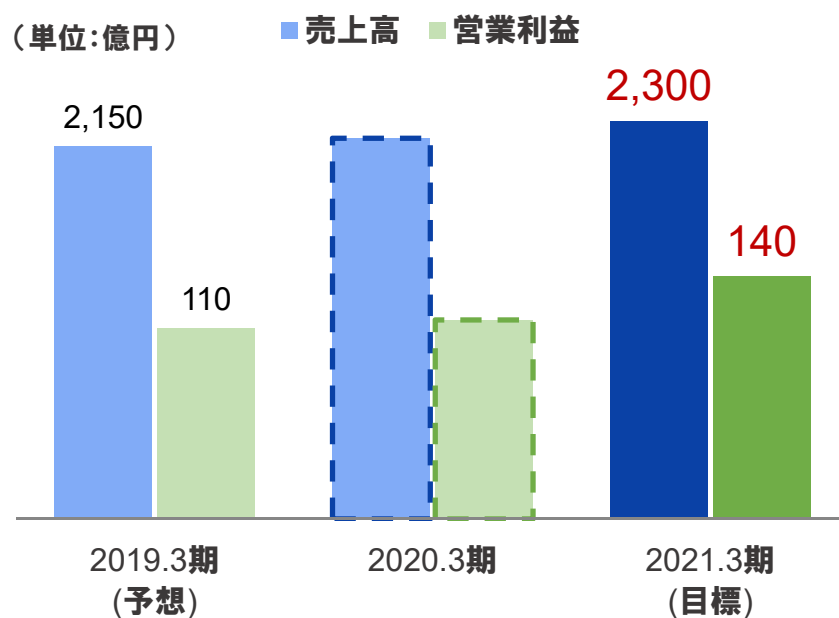
- ①「CFG2020」の司令塔となり指揮命令系統を一本化、意思決定迅速化
- ②全社最適の視点から「事業価値の最大化」を目指した計画立案・フォロー
- ③セグメントの事業戦略およびセグメント間の連携を支援する「全社総合調整」機能
- ④「CFG2020」の成長戦略と連携した広報活動の推進

■業績目標

計画期間最終年度(2021.3期)において、

- ・連結売上高2,300億円
- ・連結営業利益140億円
- ・ROE8%

の達成を目指す。



■基本方針

-「企業価値向上」に向けた転換-

転換① 基盤事業の規模拡大・収益向上策

・製品サービス

- (a) IoTやAI等駆使した次世代型製品開発
- (b) ソリューション提案力、サービス体制強化
- (c) 生産合理化投資、人材育成

・海外市場

- (a) 戦略地域拡大と販売強化
- (b) 現地パートナー発掘、協業推進
- (c) 自社工場建設→生産能力・コスト競争力強化

・M&A、アライアンス

シナジーが期待できる相手先とのM&A、業務提携等のアライアンス強化

転換② 株主還元策

- ・連結ベースで配当性向40～50%を基本に実施
- ・資本効率向上を意識した自己株式の取得

基盤事業の規模拡大・収益向上策 ①

製品・サービス

高付加価値製品投入によるシェア拡大

■航空旅客搭乗橋



自動装着システム(イメージ)



フルフラット仕様(内部)

◎自動装着システム(実用化は世界初)

- ・AI画像処理装置を搭載
- ・チャンギ国際空港(シンガポール)および成田国際空港から受注

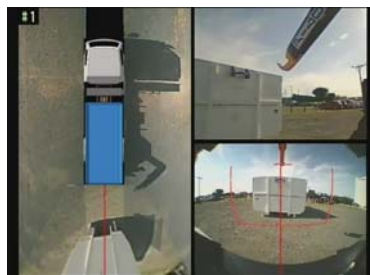
◎フルフラット仕様

- ・大阪国際空港向け納入予定の30基(2018年2月受注)は、全てフルフラット仕様

→ **国内シェア約3割から約4割※へ伸長**

※現在受注している製品を含める

■脱着ボデートラック「アームロール®」



◎ビジュアル・キャッチング・サポートシステム(画像処理技術)

- ・コンテナの積み下ろし作業を映像で支援する車載カメラシステムを発売

→ **未経験者にやさしい操作支援で安全・安心を実現**

基盤事業の規模拡大・収益向上策 ②

海外市場

【特装車】

■タイ新明和(Thai ShinMaywa Co., Ltd.)生産能力増強(増資)

キーコンポーネント(ダンプ用シリンダ等)の生産能力増強

および第三国向け輸出強化・拡大

◎従来:日本(親会社)への輸出(コスト低減)

◎現在:タイおよび近隣諸国への拡販

◎今後:インド市場参入→テレスコ式を大幅強化
(シリンダ生産能力強化、収益拡大)



テレスコ式シリンダ

【航空機】

■ボーイング「787」向け主翼スパーの増産対応および

ボーイング「777X(新型機)」向け翼胴フェアリングの量産体制確立

◎「787」は月産12機から14機へ増産

◎「777X」は自動設備導入等により量産体制を構築中

【産機・環境システム】

■新明和(重慶)環保科技有限公司を設立

中国重慶市に新会社を設立

事業内容:ごみ中継施設向け排水処理システムの設計/製造/販売およびメンテナンス

資本金 : 1,000万元

出資比率 : 100%

設立時期 : 2018年5月

売上規模(2020年) : 7億円

基盤事業の規模拡大・収益向上策 ③

M & A・アライアンス

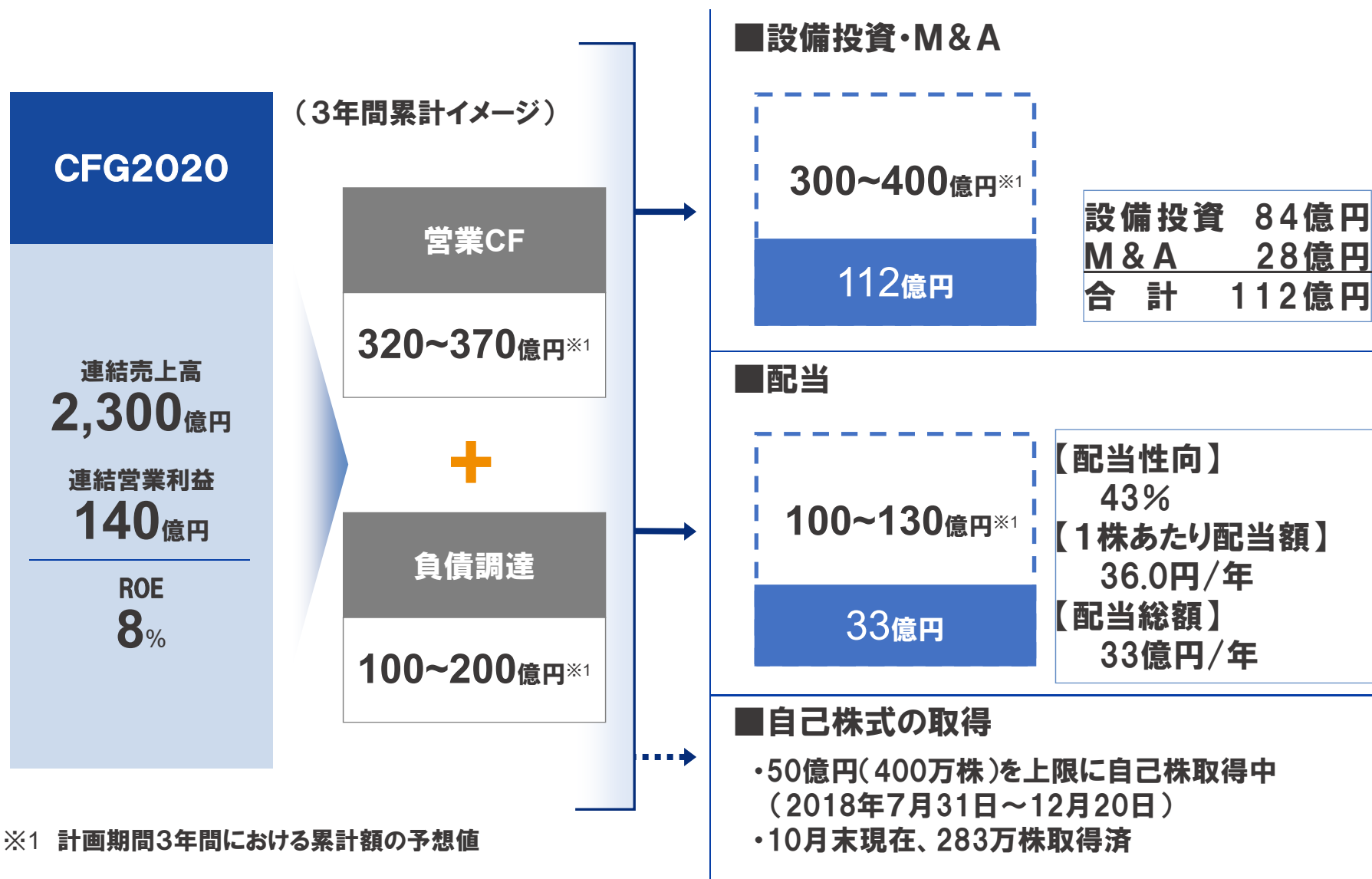
■2018年度:主な実績(2018年4月～9月末現在)

シナジーが期待できる相手先とのM & A推進
(基盤事業の市場地位向上、新規(成長)事業開拓等)

商号	大亜真空(株)	フルテック(株)	(株)ゴードーソリューション
資本金	135百万円	10百万円	40百万円
事業内容	真空技術を用いた各種機械製造	高圧洗浄機等の設計、製造、販売	製造現場向けパッケージソフトの販売、サービス
セグメント	産機・環境システム (産機システム・真空)	産機・環境システム (流体)	その他 (IT関連)
出資比率	100%	100%	100%
出資時期	2018年4月	2018年5月	2018年4月
売上規模 (2020年度予想)	15億円	12億円	3億円

【計画値】

【2019.3期 予想】



補足資料



商号 新明和工業株式会社

本社 兵庫県宝塚市新明和町 1－1

設立 1949年11月5日

資本金 15,981,967,991円

代表者 取締役社長 五十川 龍之（いそがわ たつゆき）

従業員数 連結 4,979名 単体 3,029名（2018年9月末現在）

連結子会社 19社

- 1920 ○ 川西機械製作所 設立 同所に飛行機部を設置し、海軍軍用機を製造
- 1928 ○ 川西航空機株式会社 設立 川西機械製作所 飛行機部の事業一切を承継、戦中は「紫電改」などを製造
- 1949 ○ 新明和興業株式会社 設立 戦後の再建整備計画下、川西航空機の第二会社として設立
- 1950 ● リヤードンプトラックの生産開始
- 1954 ● 自吸式ポンプ第1号機完成 1
- 1956 ● ワイヤーストリッパ(線処理機)第1号機完成
- 1960 ○ 「新明和工業株式会社」に社名変更
- 1962 ○ 東京、大阪証券取引所第2部に上場 1967年に1部指定
- 1964 ● 垂直循環方式の駐車設備第1号機を納入 2
- 1968 ● 飛行艇試作1号機を防衛庁(当時)に納入
- 1973 ● ごみ収集車「タウンパック」を開発
- 1976 ● ビル内ごみ処理設備第1号機を納入
- 1988 ● 海外初の生産拠点をタイに設立 3
- 1992 ● ボーイング社「777」向け翼胴フェアリングの生産を開始
- 2004 ● US-1A改(US-2)型救難飛行艇を初納入
- 2007 ● イワフジ工業株式会社を連結子会社化
- 2010 ● 「グループ基本理念」及びブランドステートメント『Brighten Your Future』を制定 4
- 2012 ● 東邦車輛株式会社、東京エンジニアリングシステムズ株式会社(現 新明和パークテック株式会社)など、計3社を連結子会社化
- 富士重工業株式会社(現 SUBARU株式会社)から塵芥車事業を譲り受け
- 2015 ● 特例子会社 新明和ハートフル株式会社を設立
- 2018 ● 大亜真空株式会社、株式会社ゴードーソリューション、フルテック株式会社の株式を取得



過去10年間の業績推移

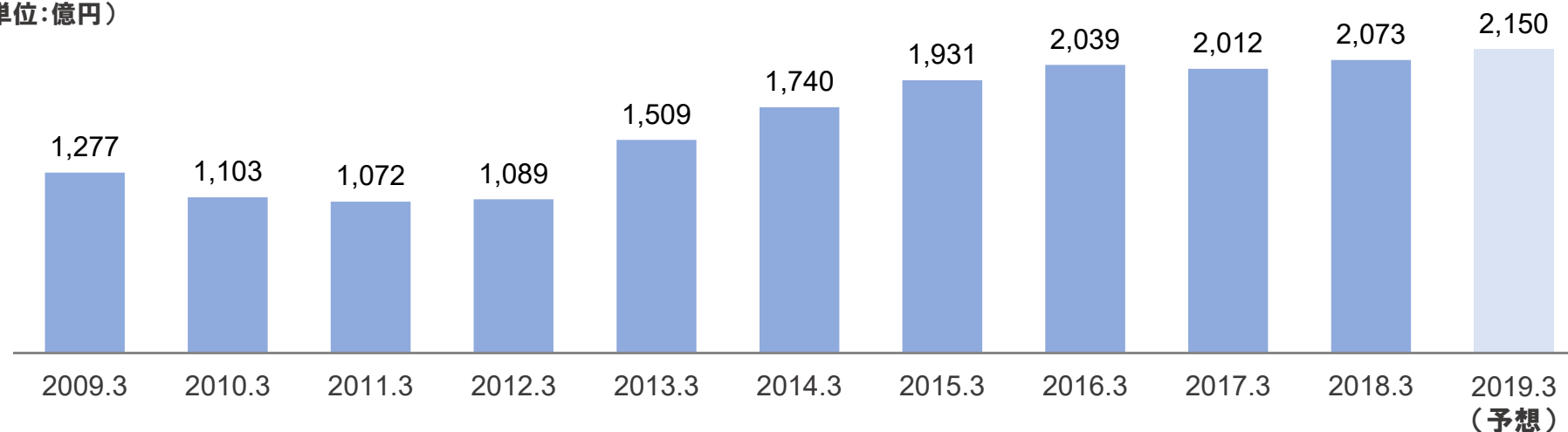
Contents

補足資料

24

■売上高

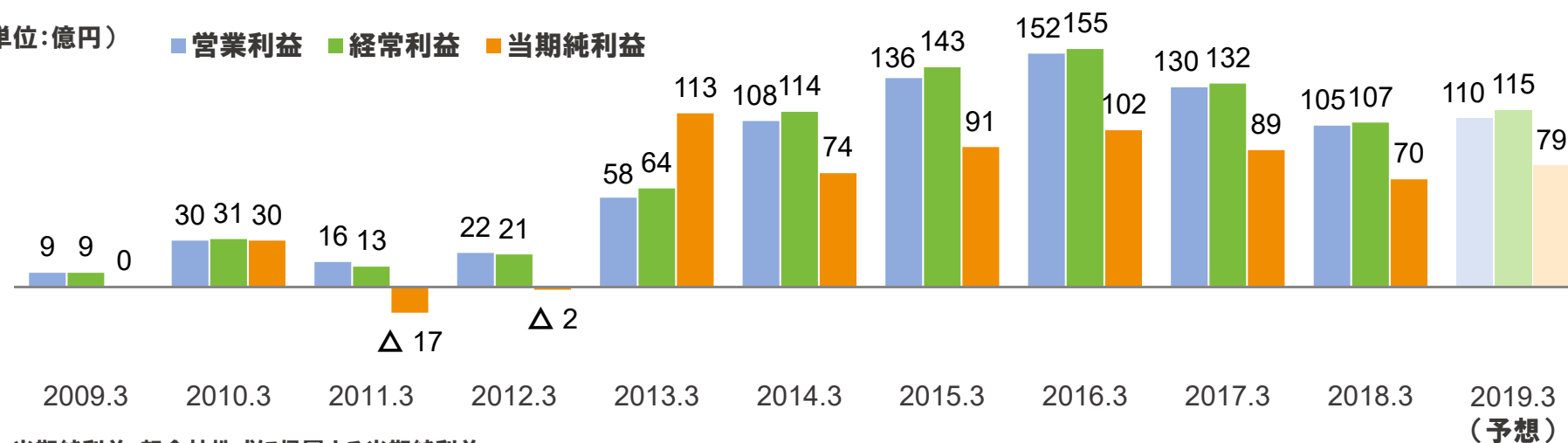
(単位:億円)



■営業利益・経常利益・当期純利益

(単位:億円)

■営業利益 ■経常利益 ■当期純利益



当期純利益:親会社株式に帰属する当期純利益

- 発行済み株式総数: 100,000,000
- 大株主の状況(持株比率は、発行済み株式総数から自己株式(6,537,781株)を除いた数値で除して算出しています。)

	株主名	所有株数(株)	持株比率(%)
1	三信株式会社	9,293,065	9.94
2	株式会社レノ	7,138,400	7.64
3	BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES SINGAPORE/JASDEC/UOB KAY HIAN PRIVATE LIMITED	6,791,000	7.27
4	株式会社南青山不動産	4,137,900	4.43
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,211,600	3.44
6	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,827,800	3.03
7	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,679,900	2.87
8	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	2,519,139	2.70
9	株式会社オフィスサポート	2,348,800	2.51
10	J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	2,142,000	2.29

株主構成



項目	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
売上高(百万円)	174,010	193,131	203,917	201,204	207,335
営業利益(百万円)	10,872	13,635	15,260	13,067	10,594
営業利益率	6.2%	7.1%	7.5%	6.5%	5.1%
PBR(倍)	0.99	1.20	0.70	0.86	0.67
PER(倍)	12.62	13.88	7.74	11.41	11.79
ROE(%)	8.09	9.11	9.40	7.74	5.83
ROA(%)	4.61	5.24	5.57	4.77	3.74

セグメント	項目	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
航空機	売上高(百万円)	34,067	41,143	47,263	39,028	40,699
	営業利益(百万円)	4,665	5,263	6,546	2,000	1,368
	営業利益率	13.7%	12.8%	13.9%	5.1%	3.4%
特装車	売上高(百万円)	77,328	84,775	87,462	89,304	90,317
	営業利益(百万円)	5,009	6,929	6,748	8,348	6,313
	営業利益率	6.5%	8.2%	7.7%	9.3%	7.0%
産機・環境システム	売上高(百万円)	24,371	27,928	30,155	29,451	30,099
	営業利益(百万円)	2,037	1,878	1,985	2,219	2,468
	営業利益率	8.4%	6.7%	6.6%	7.5%	8.2%
パーキングシステム	売上高(百万円)	28,301	27,440	29,359	31,145	31,979
	営業利益(百万円)	899	1,330	1,814	1,850	1,780
	営業利益率	3.2%	4.8%	6.2%	5.9%	5.6%
その他	売上高(百万円)	9,941	11,843	9,677	12,274	14,239
	営業利益(百万円)	318	439	796	960	1,049
	営業利益率	3.2%	3.7%	8.2%	7.8%	7.4%

連結貸借対照表の推移

Contents

補足資料

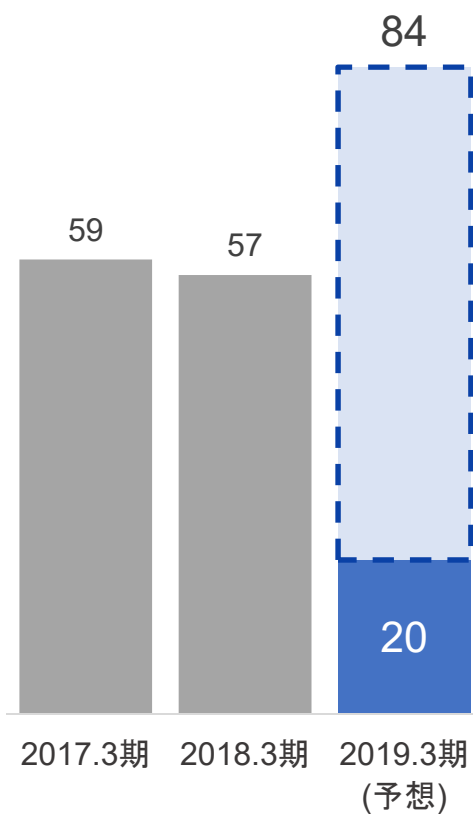
27

(単位:百万円)

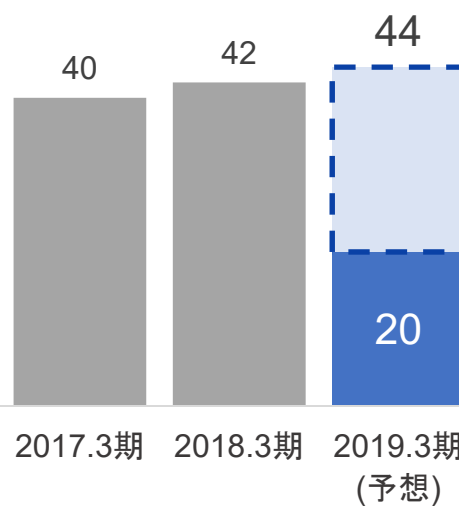
項目	2014.3期	2015.3期	2016.3期	2017.3期	2018.3期
現金及び預金	12,550	12,920	17,085	18,772	18,750
受取手形及び売掛金	68,184	77,519	76,642	76,475	74,795
仕掛品	21,617	23,274	20,702	20,273	19,594
流動資産合計	123,675	136,664	140,366	139,890	138,564
有形固定資産	27,122	27,841	29,131	30,403	31,279
無形固定資産	1,681	2,164	2,402	2,537	2,587
投資その他の資産	14,981	15,496	14,879	15,801	17,587
固定資産合計	43,785	45,502	46,413	48,742	51,455
支払手形及び買掛金	28,021	32,214	31,472	28,239	24,572
短期借入金	-	188	-	150	90
1年内返済予定の長期借入金	2,000	2,000	2,000	-	-
未払費用	8,872	10,917	12,481	10,958	10,858
流動負債合計	52,164	60,457	59,603	56,385	50,871
長期借入金	4,000	2,000	-	-	-
固定負債合計	20,072	15,750	14,097	13,898	14,143
負債合計	72,237	76,208	73,700	70,283	65,015
資本金	15,981	15,981	15,981	15,981	15,981
資本剰余金	15,737	15,737	15,737	15,738	15,738
利益剰余金	63,349	72,736	81,522	89,111	94,861
自己株式	(134)	(145)	(154)	(3,250)	(3,252)
非支配株主持分	93	93	85	79	111
純資産合計	95,223	105,958	113,079	118,348	125,004
資産、負債純資産合計	167,460	182,167	186,780	188,632	190,019

(単位:億円)

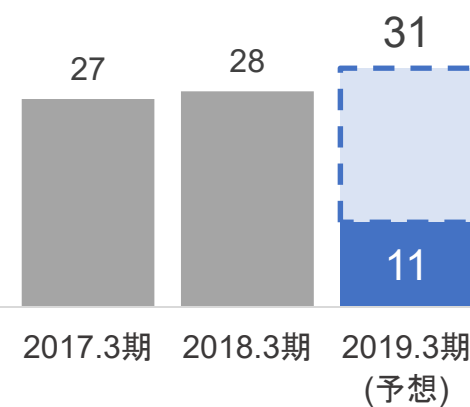
■設備投資額



■減価償却費



■研究開発費



下段:上期実績

本資料は、新明和工業株式会社(以下「当社」といいます。)またはそのグループ会社(以下「当社グループ」といいます。)に関連する見通し、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価などといった、将来に関する記述をはじめとする過去の事実以外の情報(以下「将来情報」といいます。)を含む場合があります。また当社の経営陣は将来情報に関する発言を行うことがあります。これらの将来情報の記載は、当社が入手した情報に基づく、本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点における当社の予測を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・目標等を策定するためには、過去の事実以外に、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。

したがって、将来情報は、不確実性やリスク要因をあわせて考慮する必要がある点にご留意ください。当社の実際の業務・業績に著しい悪影響を及ぼす可能性がある重要なリスク要因は多数ありますが、これらに関する追加情報については、当社の決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート等の当社の各種開示書類にも詳細な記載がございますので、ご参照ください。

なお、本資料における将来情報に関する記述は、上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、本資料の作成日以降に生じた事情により、将来情報に変更があった場合でも、当社はそれらの情報を最新のものに随時更新するという義務を負いかねますのでご了承ください。

また、本資料に記載されている当社ないし当社グループ以外の企業等にかかわる情報や意見は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。なお、本資料で使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされるいかなる損害等についても、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

本資料は、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。投資に関する判断は、投資家各位の判断において行っていただきますよう、お願いいたします。

新明和工業株式会社